

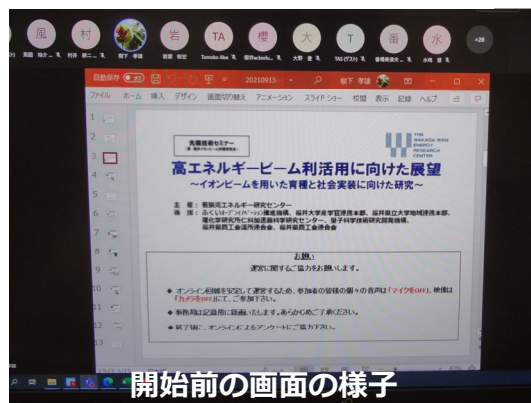
## 先端技術セミナーを開催しました

令和3年9月15日、「先端技術セミナー兼福井イオンビーム育種研究会『高エネルギービーム活用に向けた展望～イオンビームを用いた育種と社会実装に向けた研究～』」を、オンライン形式で開催しました（主催：若狭湾エネルギー研究センター、後援：FOIP、福井大学産学官連携本部、福井県立大学地域連携本部、理化学研究所仁科加速器科学研究センター、量子科学技術研究開発機構、福井県商工会議所連合会、福井県商工会連合会）。

今回は、自然界で起きる遺伝情報の突然変異をイオンビームを用いて人工的に加速させる「育種」に焦点を当て、日本各地の研究者が自らの専門的な研究や開発の現状、将来の社会実装への展望について講演しました。

主催者であるエネ研 岩瀬所長による挨拶と基調講演、福井イオンビーム育種研究会を代表して福井県立大学の村井耕二氏からの挨拶に続き、各研究者が研究成果を披露しました。各研究者は、加速器の施設保有者・利用者として、それぞれの立場での取組について、各研究テーマの専門的な内容を研究時のエピソードも交えながら詳細かつ平易に説明しました（講演者：阿部知子氏（理化学研究所）、村井氏（福井県立大）、大野豊氏（量子科学技術研究開発機構）、下川卓志氏（量子科学技術研究開発機構）、畑下昌範氏（エネ研）、櫻井明彦氏（福井大学）、木元久氏（福井県立大学））。

参加者からは、「新たな気づきも得ることができた」、「コロナ禍の中、オンライン形式により先端的な取組を聞くことができた」などの感想が寄せられ、イオンビームを用いる研究者の全国大の交流の場になるとともに、エネ研の研究にも関心をお持ちいただく機会となりました。



次第

- 13:00 主催者挨拶「高エネルギービーム照射の特長と多分野における利活用」  
若狭湾エネルギー研究センター 所長 岩瀬 彰宏 氏
- 13:10 福井イオンビーム育種研究会 挨拶  
村井 耕二 氏(福井県立大)
- 13:15 「イオンビーム育種技術による特産品の創成」  
阿部 知子 氏(理化学研究所 仁科加速器科学研究センター イオン育種研究開発室長)
- 13:40 「イオンビーム複合育種法による福井県向けバスタゲツルム小麦品種の開発」  
村井 耕二 氏(福井県立大 生物資源学部 創造農学科長 教授)
- 14:05 「高純度量子化用研究所におけるイオンビーム育種と変異誘発研究」  
大野 豊 氏(量子科学技術研究開発機構 上席研究員 (イオン)変異誘発研究リーダー)
- 14:25 「重粒子線が心治療用加速器HIMACにおける共同利用研究」  
下川 卓志 氏(量子科学技術研究開発機構 HIMAC共同利用研究推進室 生物実験世話人)
- 14:50 「植物工場用品種の開発におけるイオンビーム育種の可能性」  
畑下 昌範 氏(若狭湾エネルギー研究センター 研究開発部 生物資源研究室 主幹研究員)
- 15:15 「キノコの育種と有用物質生産」  
櫻井 明彦 氏(福井大学 学術研究院工学系部門 生物応用化学講座 教授)
- 15:35 「イオンビームを用いた突然変異による糖代謝欠損株および酵素高生産株の育種」  
木元 久 氏(福井県立大 生物資源学部 教授)
- 15:55 閉会挨拶 若狭湾エネルギー研究センター 所長 岩瀬 彰宏

次第



## 北陸技術交流テクノフェア2021に出展します

企業・大学・研究機関・団体等が出展する、北陸最大規模の総合展示商談会である「北陸技術交流テクノフェア2021」が10月21日・22日に福井県産業会館にて開催されます。

エネ研もブースを出展し、加速器模型、イオンビーム育種により品種改良した植物や県内企業がエネ研の支援制度を活用して開発した製品の展示などを通じて、エネ研の幅広い活動を御紹介する予定です。スタッフ一同、皆様と会場でお会いできることを楽しみにしております。

なお、会場へお越しの際には、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に御協力いただけますようお願いいたします。

詳細は、北陸技術交流テクノフェア2021のホームページを御覧ください。  
<https://www.technofair.jp>

# 令和3年度 事業補助金（第2次募集分）の交付を決定しました

エネ研は、福井県が推進する嶺南Eコースト計画（「多様な地域産業の育成」と「デコミッショニングビジネス※の育成」）の一環として、原子力・エネルギー分野、地域産業活性化分野、環境分野、植物工場・施設園芸分野、防災分野を対象に、嶺南地域の企業等が将来の製品化、事業化を目指し、研究開発を支援する制度として「嶺南地域新産業創出モデル事業補助金」を、また、県内の企業等が電力事業者又はエネ研との共同研究等により開発した製品・技術の販路開拓を促進する制度として「エネルギー研究成果等販路開拓支援事業補助金」を設けています。

※デコミッショニングビジネス：原子炉の廃止措置（decommissioning）に際して、除染、解体、廃棄物処理等関連業務の受注を目指すビジネス

このたび、両補助金の2次募集を実施したところ、「嶺南地域新産業創出モデル事業補助金」には3件の応募が、「エネルギー研究成果等販路開拓支援事業補助金」には2件の応募がありました。審査の結果、以下のとおり補助金の交付を決定したのでお知らせいたします。

## 嶺南地域新産業創出モデル事業補助金【実用化研究枠】

事業者名	事業テーマ
株式会社木田屋商店（小浜市）	植物工場における栽培ベッド内の温度均一化するための空調管理システムの実用化に向けた開発
若越印刷株式会社（敦賀市）	紙製クリアファイルの実用化に向けた研究開発

## 嶺南地域新産業創出モデル事業補助金【基礎研究枠】

事業者名	事業テーマ
株式会社小浜酒造（小浜市）	山の自然水を有効活用したプロジェクト構想「ワサビ栽培」プラントの設置および栽培試験

## エネルギー研究成果等販路開拓支援事業補助金【販路開拓枠】

事業者名	事業テーマ
有限会社ウチダプラスチック（鯖江市）	レーザー技術により加飾した眼鏡枠の販路開拓
株式会社漆琳堂（鯖江市）	「越前硬漆」の商品製作および販路開拓

## 科学機器を御利用ください！

エネ研には、50種類以上の高度な科学機器が設置されており、低料金で御利用いただけます。また、操作方法の相談やサポートも行っています。研究開発、品質管理における様々な技術的課題、トラブル等の解決に、ぜひ、御利用ください。



走査電子顕微鏡装置  
利用料金：210円/h



オージェ電子分光装置  
利用料金：210円/h



デジタルマイクロスコープ  
利用料金：100円/h

科学機器一覧等、  
詳しくは  
ホームページを  
ご覧ください。



本誌を読まれての御感想、御意見を下記担当あてお寄せください。

住所：〒914-0192 福井県敦賀市長谷64-52-1

E-mail:kikakushien@werc.or.jp

TEL:0770-24-7273 FAX:0770-24-7275

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

